

平成 18 年 9 月 5 日

各 位

会 社 名	株 式 会 社 エ イ ア ン ド テ ィ ー
代表者の役職氏名	代表取締役社長 磯 村 健 二 (コード番号：6722)
問い合わせ先	常務取締役 黒 澤 研 治
電 話 番 号	0 4 5 - 3 1 7 - 1 2 5 2 (代)

個別検体データ検証システムCLINIEEL Zone-2 を発売
～検査結果報告までの時間を短縮し、早期診断、早期治療に貢献～

株式会社エイアンドティー(以下、当社)は、採血した血液の検査結果を従来に比べ、短時間で医師に報告することを可能にした個別検体データ検証システム CLINIEEL Zone-2 (以下、Zone-2) を開発し、2006年9月より販売を開始いたしました。

病院の検査室は、検査結果を医師へ迅速・正確に報告することが求められており、医師は検査結果をもとに患者の症状を診断し、処置方法や投薬内容を判断します。検査結果は、医師が最終的な診断を円滑に行えるよう、臨床検査技師が目視によりデータをチェックし、一次的な判断を行います。このため、医師への結果報告に数時間から数日かかる場合もあります。

当社が開発したZone-2は、出現実績ゾーン法¹⁾と呼ばれる精度管理²⁾方法をシステム化した当社独自の製品です。個別検体の検査結果が一目でわかるよう、数字データの羅列だけではなく、グラフや立体図³⁾でも表示されることにより、目視チェックの負荷と時間を軽減し、医師に報告するまでの時間を短縮することが可能となります。また、この結果報告が短時間で行われることにより、1回の通院で検査から診断・処置までが可能となり、早期診断・早期治療による医療の質とサービスの向上につながります。

Zone-2は、当社の主力製品である臨床検査情報システムCLINILAN GL-2⁴⁾ (以下、GL-2) 専用のオプションモジュールです。従来製品のCLINIEEL Sever Zone ModelをGL-2専用リニューアルし、機能・操作性を向上させました。

1) 出現実績ゾーン法

病院に蓄積されている膨大な検査結果を利用し、患者個人の検査結果が過去の検査実績からあり得るデータかどうかを検証するデータマイニングを利用した精度管理方法。診断を行う際の臨床的な根拠となるEBM(Evidence Based Medicine)となり得る。

2) 精度管理

各検査結果が正しい値(正確・精密)であるかどうかを保証するために行う作業。

3) グラフや立体図

次頁の図1、図2を参照。

4) CLINILAN GL-2

化学、血液、一般という検体検査部門の検査業務システム機能に加え、病院検査室の経営資源として戦略的に活用できる、当社の臨床検査情報システムにおける基幹システム。

【製品概要】

1. 名称

CLINIEEL Zone-2

2. 仕様

◆ ソフトウェア仕様

- ① ゾーン種類； 単項目、前回値、項目間
- ② 同時検証項目数； 最大 500 項目
- ③ 同時検証組み合わせ数； 最大 500 組み合わせ
- ④ 検証結果報告； リアルタイム検証報告
- ⑤ その他；
 ゾーン自動作成機能
 対話形式ゾーン作成機能
 ゾーン自動評価機能
 リアルタイム検体情報表示
 リアルタイム経時結果表示

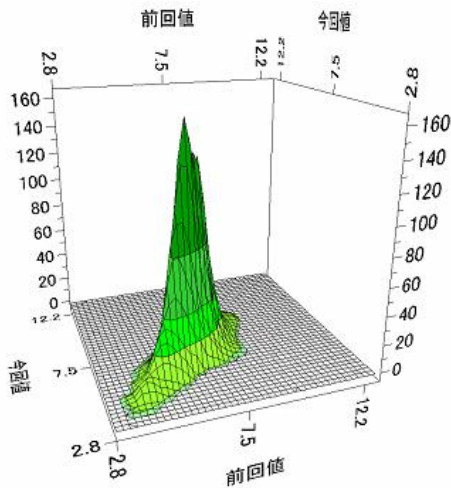


図1 病院の検査データを3D立体図で表示

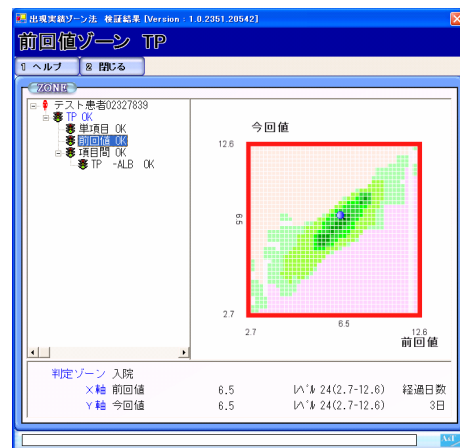


図2 検査結果判定画面

3. 出現実績ゾーン法に関するホームページ

<http://www.aandt.co.jp/jpn/zone/index.htm>

以上

＜製品・販売に関するお問い合わせ先＞
 株式会社エイアンドティー
 営業推進グループ
 Tel. 045-317-1273